

2015年9月25日
公益財団法人 マツダ財団

マツダ財団 2015 年度の研究助成を決定 —サステイナブルで心豊かな社会を目指して 科学技術の振興と青少年の健全育成に関する研究 31 件を助成—

公益財団法人マツダ財団(理事長 金井誠太)は、2015 年度の研究助成を決定しました。

今年度は、全国の大学・研究機関などから、過去最高となる 443 件の応募があり、その中から「科学技術振興関係」として 25 件に助成金額 3,200 万円を、また「青少年健全育成関係」として 6 件に助成金額 500 万円の研究助成を決定しました。合計では、31 件、総額 3,700 万円となり、昨年度よりも 100 万円の増額となりました。

なお、科学技術振興関係の助成対象の中から、若手研究者を主たる対象とし、選考委員会が特に優れた研究であるとみなした 4 件の研究に対し、「マツダ研究助成奨励賞(科学技術振興関係)」を授与し、副賞として研究助成金 50 万円を各々追加助成します。

今年度の研究助成は次の通りです。

1. 科学技術振興関係の研究助成は、科学技術の発展に寄与する優れた 25 件の研究に決定しました。助成金額は 3,200 万円です。マツダ財団では従来から、次世代を担う若手研究者および未来をひらく芽となる萌芽的研究を優先して助成を行っており、今回の 40 歳以下の若手研究者への助成割合は、84%(前年度は 92%)となりました。
マツダ財団が重点をおく「循環・省資源に貢献する研究」では、「水素社会の実現に向けた高活性水分解光触媒の創製」(東京理科大学)、「高度配列カーボンナノチューブと樹脂を複合化させた高電気・熱伝導プラスチック開発」(静岡大学)など、エネルギーや物質の循環・省資源に取り組むサステイナブルな社会に貢献する 16 件が選ばれました。また、昨年度より設けた「マツダ研究助成奨励賞」では、持続可能なエネルギー社会の実現への貢献が大いに期待できる「マルチスケール階層構造を用いた高効率 SiGe 熱電変換ナノ材料の開発」(東京大学)などが選ばれています。
2. 青少年健全育成の研究助成では、助成 6 件、助成金額は 500 万円です。青少年の健全育成にかかわる実践的な研究の中でも特に社会的必要度、要請度の高いと認められる研究を、助成対象としています。
今回は、「『子どもの最貧国日本』における Shift-Persist Strategy の有効性についての検証」(広島大学)といった、子どもたちの貧困と将来のキャリアの問題に取り組む研究や、「これからの『持続可能な開発』を担う健全な青少年を育成するための環境学習ゲーム教材の開発と評価」(宇都宮大学)といった、里山の自然を題材にした環境教育に取り組む研究まで、現在の社会的課題を踏まえた多様な研究が選ばれています。

なお、2016 年度青少年健全育成のための市民活動支援については、10 月から広島、山口両県で募集を開始します。

マツダ財団は、科学技術の振興と青少年健全育成のための助成などを行うことにより、世界の人々

が共に繁栄を享受し、心豊かに生きることのできる社会づくりに寄与することを目的として、1984年に発足しました。これまでの助成実績は今回を含め合計1,945件、15億7,474万円となりました。

今後一層、公益財団法人としての使命を果たし、社会のお役に立てるよう、マツダ財団はこれからも更なる社会貢献に取り組んでまいります。

以上

第 31 回(2015 年度)マツダ研究助成一覧

マツダ財団ホームページ: <http://mzaidan.mazda.co.jp/>

【科学技術振興関係】

助成金額は一律 120 万円。但し、「マツダ研究助成奨励賞」に選出されたものは、50 万円の追加助成。

◇印は循環・省資源に係わる研究 ◆印は「マツダ研究助成奨励賞」対象者

地 域	研 究 題 目	研 究 代 表 者(役職は応募時)	助成 金額 (万円)
北海道	全固体エレクトロクロミック薄膜トランジスタの開発	カタセ タカヨシ 片瀬 貴義 北海道大学電子科学研究所助教	120
青森	低温環境下において自励的に作動するマイクロ熱 輸送デバイスを用いた実用化基盤技術の構築 ◇	フモト コウジ 麓 耕二 弘前大学大学院理工学研究科准教授	120
宮城	金属酸化物物性の精密コントロールを可能とする 新規手法の開発 ◇	タムラ マサズミ 田村 正純 東北大学大学院工学研究科助教	120
茨城	1 つのコンバータで太陽電池と蓄電池の同時制御 が可能な「3 ポートコンバータ」の開発 ◇	ウノ マサトシ 鶴野 将年 茨城大学工学部准教授	120
千葉	強磁性元素含有ポリマーの開発と粒子制御技術への 応用	コオリ ミチナリ 桑折 道済 千葉大学大学院工学研究科准教授	◆170
東京	非貴金属(ユビキタス)元素とRedox 活性アミン配位 子を含む非貴金属錯体を用いた室温光駆動型アル コール燃料電池デバイス設計 ◇	マツモト タケシ 松本 剛 中央大学理工学部助教	120
東京	偏波及び多重散乱解析を用いた超分解能内部画 像化レーダに関する研究	キデラ ショウヘイ 木寺 正平 電気通信大学大学院情報理工学研究科准教授	120
東京	回転傾斜露光を用いたマイクロニードルアレイの開 発	タカハシ ヒデトシ 高橋 英俊 東京大学大学院情報理工学系研究科特任助教	120
東京	マルチスケール階層構造を用いた高効率 SiGe 熱 電変換ナノ材料の開発 ◇	ノムラ マサヒロ 野村 政宏 東京大学生産技術研究所准教授	◆170
東京	界面の空間制御による新規酸化チタン微粒子材料 の創製 ◇	オカダ ヨウヘイ 岡田 洋平 東京農工大学大学院工学研究科助教	120
東京	超音速ガスバフ法を用いた燃料供給による深宇宙 探査機用電気推進機の性能向上	クワハラ ダイスケ 桑原 大介 東京農工大学大学院工学研究科助教	120
東京	太陽光反射面のパッシブ再生機能を実現するマイ クロピラー光触媒層の開発 ◇	カメヤ ユウキ 亀谷 雄樹 東京理科大学工学部助教	120
東京	水素社会の実現に向けた高活性水分解光触媒の 創製 ◇	クラシゲ ワタル 藏重 亘 東京理科大学理学部助教	120
山梨	帯電液滴ビームを用いた有機無機複合材料の微 細領域分析に関する研究 ◇	ニノミヤ サトシ 二宮 啓 山梨大学大学院総合研究部准教授	120
静岡	高度配列カーボンナノチューブと樹脂を複合化させ た高電気・熱伝導プラスチック開発 ◇	イノウエ ヨク 井上 翼 静岡大学大学院総合科学技術研究科准教授	120

地域	研究題目	研究代表者(役職は応募時)	助成金額(万円)
愛知	三相界線マイクロメニスカス挙動に基づくループヒートパイプ蒸発器の開発 ◇	ニシカワラ マサヒト 西川原 理仁 豊橋技術科学大学大学院工学研究科助教	◆170
三重	カーボンナノチューブ内包強磁性金属ナノワイヤの合金化による磁気特性制御 ◇	サトウ ヒデキ 佐藤 英樹 三重大学大学院工学研究科准教授	120
京都	光誘起マランゴニ回転流を利用した自己集積的なマイクロ粒子の配列に関する研究 ◇	ナムラ キョウコ 名村 今日子 京都大学大学院工学研究科助教	120
大阪	2次元超伝導物質を用いた高効率スピン変換とその制御	ニイミ ヤスヒロ 新見 康洋 大阪大学大学院理学研究科准教授	120
大阪	光相関イメージング法による長時間観察可能な蛍光顕微鏡の開発	ミズタニ ヤスヒロ 水谷 康弘 大阪大学大学院工学研究科准教授	120
広島	新規層状ケイ酸塩 Hiroshima University Silicate (HUS)を用いた二酸化炭素吸蔵材料の開発 ◇	ツノジ ナオ 津野地 直 広島大学大学院工学研究院助教	120
広島	低温成長 InGaAs の固相エピタキシー技術の開拓	トミナガ ヨリコ 富永 依里子 広島大学大学院先端物質科学研究科助教	120
香川	手書きした磁力線を自動採点するシステムの開発とその教育評価 ◇	テンゾウ ヒデキ 天造 秀樹 香川高等専門学校講師	120
福岡	精密合成に基づく機能性高分子界面の構築:血液適合性制御に向けた設計指針の提案 ◇	オダ ユカリ 織田 ゆかり 九州大学大学院工学研究院特任助教	120
福岡	光ファイバーテラヘルツ光学変調器の開発	ザイツ シンイチ 財津 慎一 九州大学大学院工学研究院准教授	◆170
科学技術振興関係 計 25 件		助成金総額(万円)	3,200

「マツダ研究助成奨励賞」(科学技術振興関係)一覧

研究代表者(役職は応募時)	研究題目
コオリ ミチナリ 桑折 道済 千葉大学大学院工学研究科准教授	強磁性元素含有ポリマーの開発と粒子制御技術への応用
選考理由	本研究は、既存の優れた材料と磁石に応答する強磁性体を複合し、新たな機能磁性材料を創成する技術開発であり、磁力による粒子制御技術を用いた「色調変化が可能な単色構造色材料」の創製を目指したものである。これにより、外部磁力変化による波長選択的光導波路の開発や、磁力により色調可変な色材開発など多岐に渡る分野での応用が期待でき、その高い技術内容に対して、奨励賞を贈呈する。
ノムラ マサヒロ 野村 政宏 東京大学生産技術研究所准教授	マルチスケール階層構造を用いた高効率 SiGe 熱電変換ナノ材料の開発
選考理由	本研究は、従来法にフォノニクス的手法を上乗せし独自に考案したマルチスケール階層構造と半導体ナノ加工技術により、低環境負荷で高性能かつ安価な SiGe 材料を高効率熱電変換材料に昇華させるものである。これにより、熱電変換効率の向上だけでなく、高環境負荷・希少材料からの脱却も期待でき、その独創性と先進性の高い研究内容に対して、奨励賞を贈呈する。

「マツダ研究助成奨励賞」(科学技術振興関係)一覧 つづき

研究代表者(役職は応募時)	研究題目
ニシカワラ マサヒト 西川原 理仁 豊橋技術科学大学大学院工学研究科助教	三相界線マイクロメニスカス挙動に基づくループヒートパイプ蒸発器の開発
選考理由	本研究は、毛細管力を駆動源とするループヒートパイプを用い、蒸発器の三次元マイクログループ内の気液挙動を可視化し、これを自ら開発した三次元多孔体内気液二相熱流動解析に適用することで、高精度な蒸発器設計理論を構築する。これによって、応用範囲の広い無電力高効率熱輸送技術を低コストで実現することが期待でき、その高い技術内容に対して、奨励賞を贈呈する。
ザイツ シンイチ 財津 慎一 九州大学大学院工学研究院准教授	光ファイバーテラヘルツ光学変調器の開発
選考理由	本研究は、微細構造中空光ファイバー中で励起された分子のコヒーレント運動に注目し、これを光波と相互作用させることによって、分子の運動周波数での光波の位相・振幅変調を実現する「光ファイバーテラヘルツ光学変調器」を提案するものである。これによって、光変調器における最大変調周波数を3桁以上拡張することが期待でき、その「光の特性を操る」技術の高い革新性に対して、奨励賞を贈呈する。
計 4 件	

【青少年健全育成関係】

地域	研究題目	研究代表者(役職は応募時)	助成金額(万円)
栃木県	これからの「持続可能な開発」を担う健全な青少年を育成するための環境学習ゲーム教材の開発と評価	デグチ アキコ 出口 明子 宇都宮大学教育学部准教授	90
東京都	子ども理解のための包括的な評価プログラムの開発	セトヤマ シオリ 瀬戸山 志緒里 国立精神・神経医療研究センター病院 科研費心理療法士	80
東京都	非行と発達障害等の困難を有する青少年の立ち直りと地域移行支援に関する調査研究	ナイトウ チヒロ 内藤 千尋 白梅学園大学子ども学部助教	80
東京都	地方自治体とNPOの協働事業による外国人支援の可能性に関する調査研究—神奈川県大和市「放課後寺子屋やまと」における活動を通して—	チューブ サラーン チューブ サラーン 日本大学大学院人文科学研究所研究員	80
静岡県	子どもの社会性を育むための社会化エージェント資源モデルの検討:家庭・地域・学校の相互連携に注目して	アサノ リョウスケ 浅野 良輔 浜松医科大学子どものこころの発達研究センター 特任助教	80
広島県	「子どもの最貧国日本」における Shift-Persist Strategy の有効性についての検証	ナカシマ ケンイチロウ 中島 健一郎 広島大学大学院教育学研究科講師	90
青少年健全育成関係		計 6 件	助成金総額(万円) 500